

2023.11.10 発行

interview

代表取締役
なかむら
中村
かずあき
和明



学生時代から「ゆくゆくは中村電設株式会社を引き継ぐのだろう」と意識していたと語る代表取締役の中村和明。30代で父からバトンを渡され、現在は組織のさらなる発展を図るべく奮闘中だ。どのような経緯を経て、経営者としての心構えを身につけていったのだろうか。これまでの道のりを振り返る。

身近に感じていた父の仕事

幼少期に喘息を発症し、親の勧めで水泳を10年間続けてきた。中学校へ進学すると、夢中になったのが軟式テニスだ。どちらもタイムや勝負にこだわるよりも、体を鍛え、スポーツそのものを楽しむことが第一の目的だったと感じている。

高校卒業後は夜間大学に1年ほど通うが、ほどなく中村電設でのアルバイトに比重をかけるよう

になり、電気工事の面白さを知る。もっと学びたいと考え、知識を得られる夜間の専門学校へと移った。家業に従事しようと決めたのは、親に勧められたからではない。いずれ自分が父の会社を引き継ぐことになる、すでに中学校のころから意識しており、ごく自然にたどり着いた結論だったのだ。高校に通っていたころ、母から「あなたにもし継ぐ気があるのなら、私たちもがんばるよ」と言われたことが今も心に残っている。



▲幼少期

思わぬハプニングで得た人とのつながり

その後、正式に中村電設の一員となって電気工事に励んだ。しかし、中村が勤務し始めた当時は、先輩の背中を見て仕事を学ぶ時代。

「まずは自分で挑戦して、わからない部分があれば聞きにきなさい」。

それが、先輩たちの指導スタイルだった。専門学校で学んだ知識のみでは太刀打ちできず、本来ならば1時間程度で完了すべき作業に半日ほどかけてしまったこともある。さまざまな失敗を経験しながら、仕事の流れを一通り覚えていった。

そして、30歳のころに担当した現場で、中村は大きな転機を迎えることになる。工事の要となる元請け会社の担当者が突如、現場から離脱してしまうアクシデントに遭遇し、それまでほとんど接点のなかった発注者から代役を任されたのだ。急な依頼に戸惑いを隠せなかったが、それでも何とかして作業を進めなければならない。意を決すると、現場の取りまとめに奔走した。周りの人たちにいろいろとアドバイスを受けながら無事に工事を完了できたときは、これまでにない達成感を味わった。そのときに知り合った人たちとは今も付き合いがあり、中村にとって貴重な財産になっているという。

現在の課題は、会社の基盤づくり

中村が代表取締役に就任したのは、30代半ばだった。主要な取引先である日本製鉄株式会社(旧



▲5年前の中村

日新製鋼株式会社)との付き合いは長く、工事の流れ、関係者とのやり取り、受発注の仕組みなどのほとんどを把握している。そのため、新社長としてのプレッシャーを感じることはほとんどなかったという。

ただ、会社の組織体制はまだ十分に整備されておらず、いかに全体的な底上げを図っていくのが当面の課題だと感じていた。身の回りの小さな改善から、新たなシステムの導入や福利厚生の実施といった大きな制度の改革まで、ここ10年間で少しずつ改善を図っている。

まずは「安全第一」を念頭に置いて

さまざまな取り組みのなかで中村が最も注力してきたのが、安全意識の向上である。社長になる前は、30日余りの間に3回事故を起こしたことがあり、けが人こそ出なかったものの、法律や工場内のルールに対する意識がまだまだ低いと感じていた。発注者や元請け会社の担当者から報告書の作成方法を教えてもらうところからスタートし、社員の意識を少しずつ改善していった。やがて、労働安全衛生法で定められた特別教育を社内で行えるまでに取り組みは加速していく。しかし、外部講師を招いたり、他社の研修会に参加したりするには時間も費用も不足しており、中村自身がトレーナー教育を受講し、自ら講師となって安全教育を実施した。

長期的な取り組みの結果、ここ数年間は大きな事故の発生はなく、安全への意識は目に見えて高まったと感じている。それでも、その追求に終わりはない。

「法律の改正などで、特別教育の科目や内容も年々増えてきています。それに応じて、指導方法もアップデートしていかなければなりません」。

技術と安全の両面において、顧客に満足してもらえる質の高いサービスを目指さなければならない。そのためには、まだ乗り越えなければならない壁があった。

(後編に続く)



知っていましたか？

福利厚生制度 紹介

今回は、社内で利用できる各種制度についてご紹介！
当社は業界として珍しく、福利厚生制度が整っています。そこで、各制度について知っておきましょう

会社負担で保険に加入

- 現場で働いている
- 勤続1年以上

の皆さんは、

がん保険
医療保険

に加入しています！



さらに充実した保険内容に変更！

月5,000円前後の保険に加入！

人間ドックを無償で！

- 35歳以上の従業員
- 従業員の配偶者(35歳以上)

上記の皆さんは全員『会社全額負担』で人間ドックを受診していただけます。



退職金アップ！変額保険

- 全員対象
- 保険料の一部を運用し、10年、15年、定年のときに退職金としてお渡しします。



職場NISAと 職場iDeCo資産を増やそう！

- 全員対象
- 奨励金を5000円ずつ支給予定

金融リテラシー(金融や経済の知識・判断力)を高めて、資産アップを目指しましょう！



中村社長より

これからの時代には金融リテラシーが必須です。そこで従業員の皆さんに、お金の使い方を勉強してほしいという思いから、職場NISAとiDeCoを始めました。会社が「手当」というかたちで奨励金を出して、運用の勉強を兼ねて退職金がわりに積み立てをしていただこうと思っています。

社内報発行のお知らせ

THE FIRST ISSUE

この度、「NE通信」というタイトルで社内報を発行することになりました。社内の業務内容をはじめ、社員の皆さんの一面など、中村電設の情報が盛りだくさんです。ぜひ、手にとってご覧ください！

発行日
毎月**10日**

発行の目的

- 1 福利厚生制度の紹介を通し活用しやすく！
- 2 社員の活躍ぶりを共有し、ご家族からの応援を得る！
- 3 業務に活かせるシステムの紹介やコラムを掲載し、情報リテラシーの向上に！
- 4 既存社員の活躍や、現場の生の声を届けることで採用強化に役立つツールに！



中村社長より

会社のことをもっと知ってもらいたいと思い、今回のプロジェクトをスタートさせました。この社内報を通じて、社員同士、社員とその家族及び外部とのコミュニケーションのきっかけになればと考えています。「自分の職場はこんなところだ」とご家族に見ていただいたり、福利厚生や種々の申請などについて、理解を深める場としてもらいたいと思います。今まで通りで良いという考えは、捨てていきましょう。新しいことを始めるのは壁が高いものですが、それにちゅうちょしては、世間に置いていかれます。これを常に頭に入れて、行動理念としてほしいと思います。

このような企画を準備中！

- 巻頭インタビュー**
一緒に働く仲間のことをより知ってもらうため、社員の皆さん一人ひとりにスポットを当てていきます。第1号と第2号は、中村社長に巻頭インタビューを飾っていただきます！
- 社内システムや福利厚生紹介**
社内システムの使い方や福利厚生をご紹介します。これを読めば作業効率アップ、人生が豊かになることは間違いなし！
- お楽しみコンテンツ**
ありがとうメッセージや、趣味、学生時代の思い出、休日の過ごし方などを取り上げます。

